

2012 年 3 月 期

スルガ銀行

インベスターズ・プレゼンテーション

Presentation to investors on fiscal year ended March 31, 2012

Meeting the Challenge of New Banking



SURUGA bank

日本の構造改革のテーマは20年間ほとんど変わっていない

〈現在の日本に必要な構造改革ビジョン〉

人口減少歯止め

子供を育てやすい
環境整備

財政バランス回復

欧州諸国並みへの
消費税の引き上げ

新産業育成

次世代にとって
良質な雇用の創造

道州制

東京一極集中から
活力ある地域の再生

市場開放

海外資本の導入
グローバル化推進

一次産業再生

食料自給率向上
食の安全確保

真の豊かさ

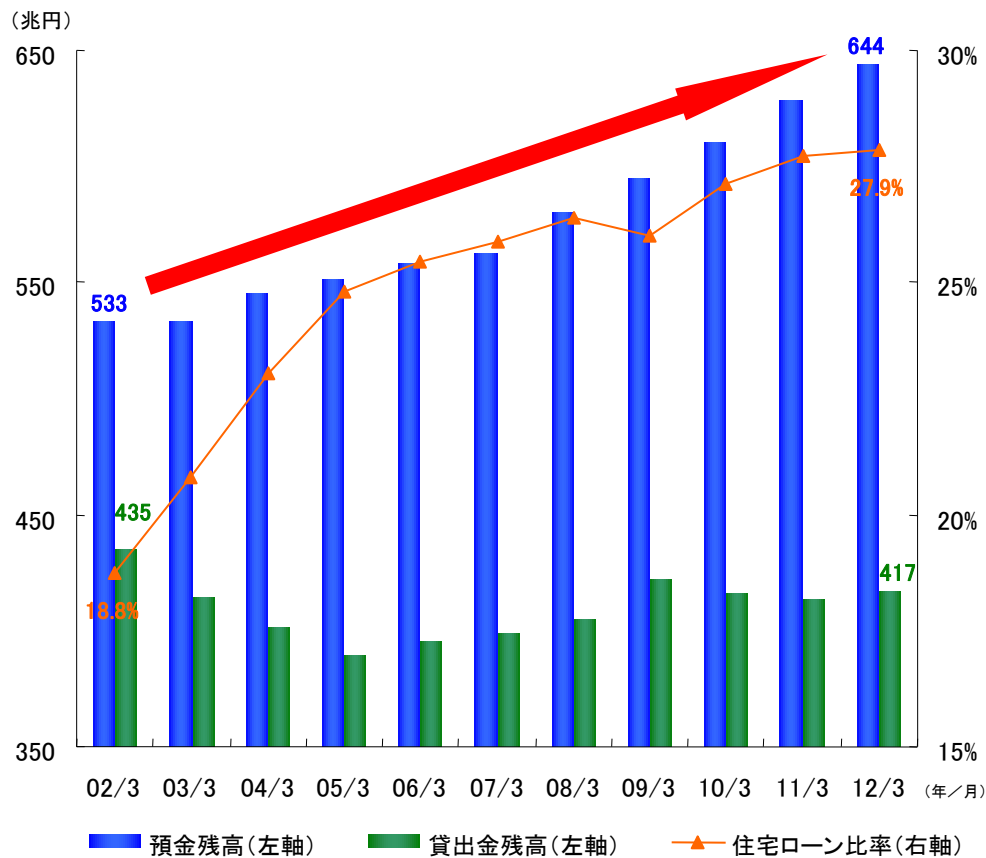
を感じられる
社会の構築



これからの日本には
「21世紀における世界の未来像を先行体験している国」として
世界をリードする新たなモデルの構築が期待されている

■ 邦銀を取り巻く環境

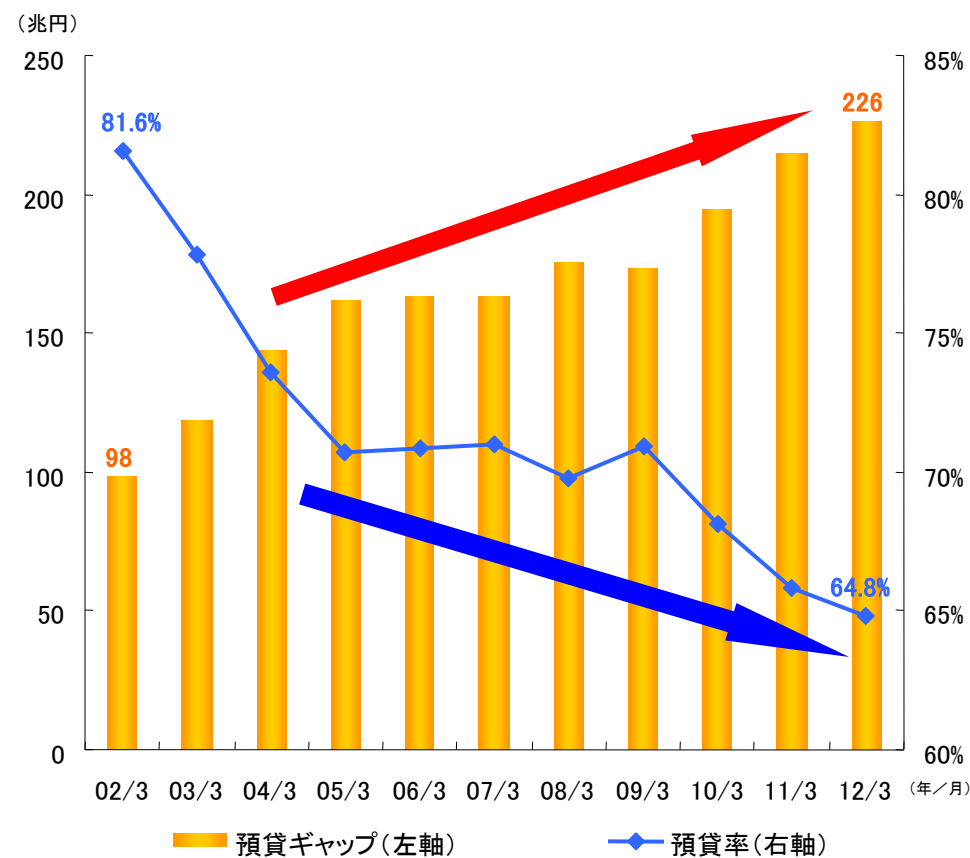
国内銀行における預貸金残高と住宅ローン比率の推移



(出所) 日本銀行資料より作成

預金増加の一方で貸出金は減少傾向
貸出金に占める住宅ローンの比率は年々上昇

国内銀行の預貸ギャップと預貸率の推移



(出所) 日本銀行資料より作成

資金需要の低迷により預貸ギャップは拡大傾向
預貸率は低下に歯止めが掛からず

第4次経営計画ブランドデザイン

市場の特性を活かし、顧客軸を付加した価値創造実現へ

—スルガのリテール特化戦略により培ったノウハウを最大限に発揮—

主な市場

ネットワーク事業

インターネット・コールセンター
によるダイレクトチャネル

コミュニティバンク

静岡 / 神奈川の従来型の
フルバンキングサービス

首都圏をはじめ札幌から福岡まで、
主要な都市圏における事業展開

広域事業

日本郵政グループの
幅広いネットワーク

代理店事業

経営資源の効率的・効果的な配分

戦略的傾斜配分

戦略的傾斜配分

コア事業

フリーローン事業

住宅ローン事業

保障性保険事業
(バンカシュアランス)

資産運用
サポート事業

スモール
／ミドル法人事業

総合的なエリア戦略を
可能とする
スルガのケイパビリティ

価値観
Our
Philosophy

リテール
マインド

マーケティング

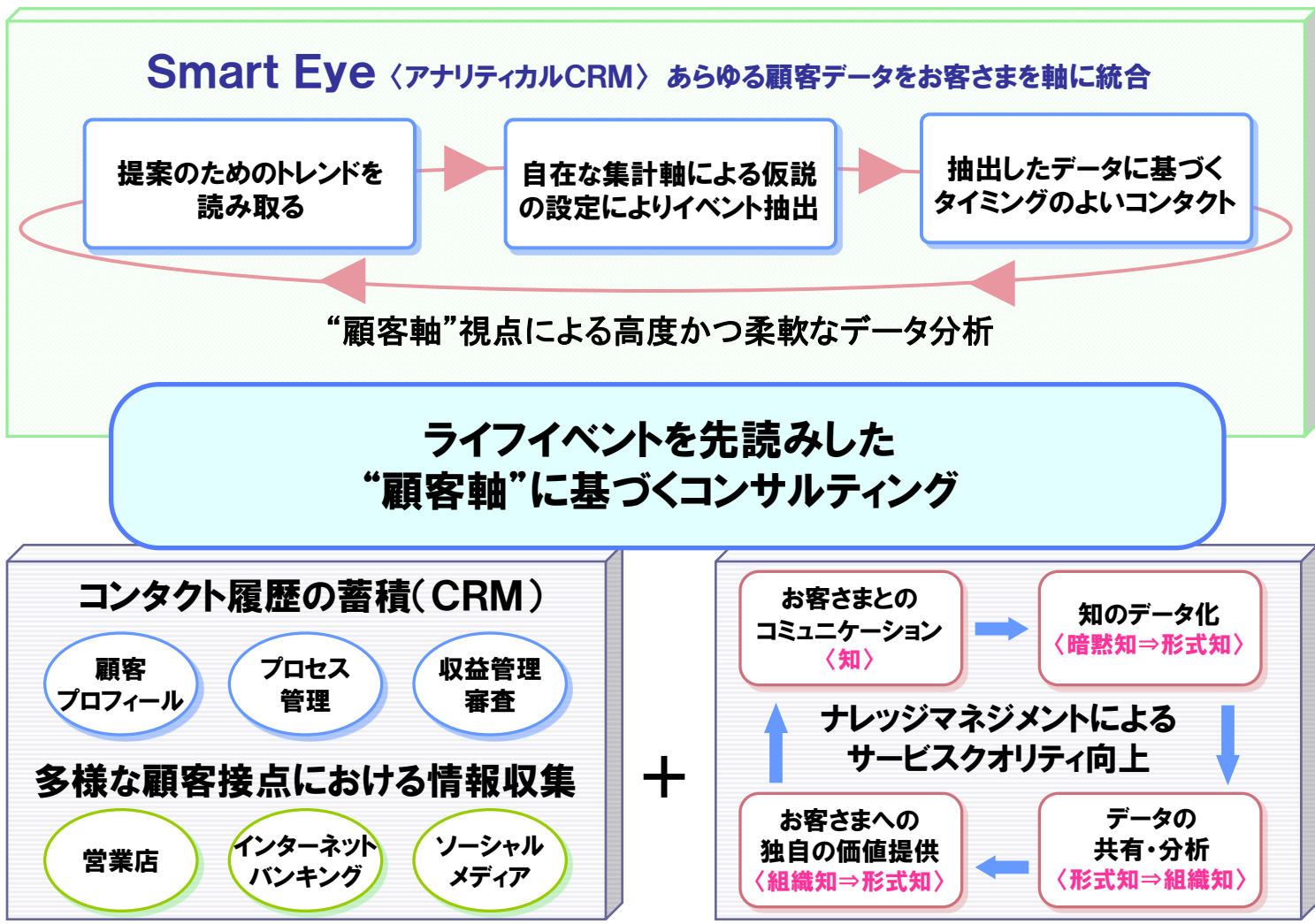
システム
インフラ

全国に広がる
顧客基盤

他を圧倒する
スピード・柔軟性

■ 顧客軸を付加することにより、新金融サービス業の実現をめざす

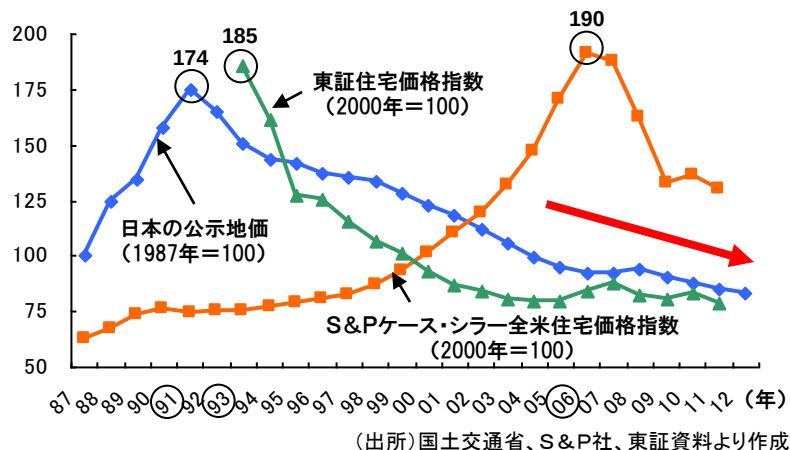
さまざまな情報を“顧客軸”により統合・集約
これまで以上に最適なタイミングでの提案を実施



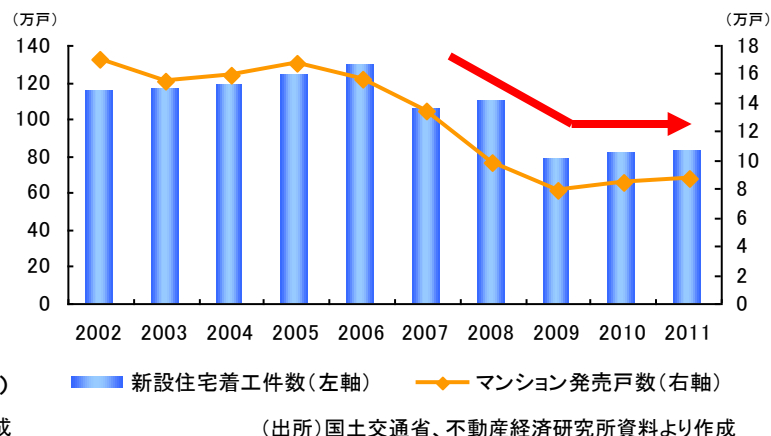
住宅ローン市場を取り巻く環境認識

不動産市場を取り巻く環境の変化

〈日本とアメリカの不動産価格の推移〉



〈新設住宅着工件数とマンション販売戸数の推移〉



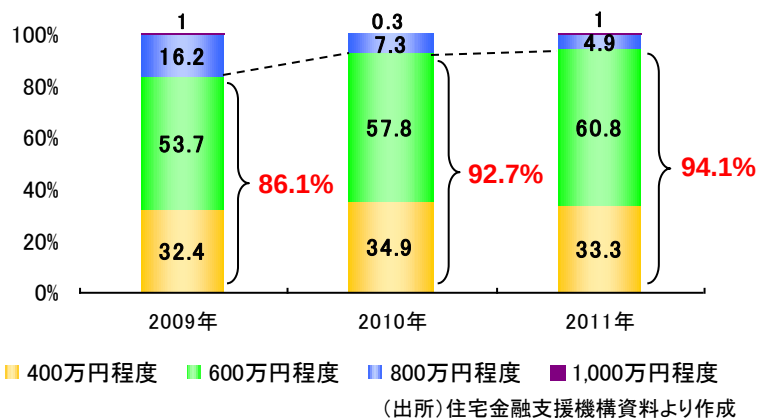
今後も地価の上昇および
不動産市場の拡大は
期待しにくい



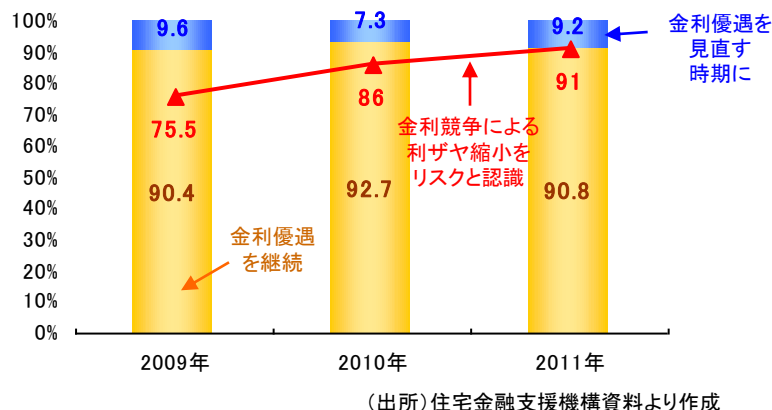
従来のビジネスモデルは
通用しない時代に

国内銀行住宅ローンビジネスの方向性

〈国内銀行の住宅ローン顧客ターゲット(年収)〉



〈金利優遇策に対する認識の変化〉



顧客属性も低下傾向
収益を確保できない
金利優遇モデルも限界に

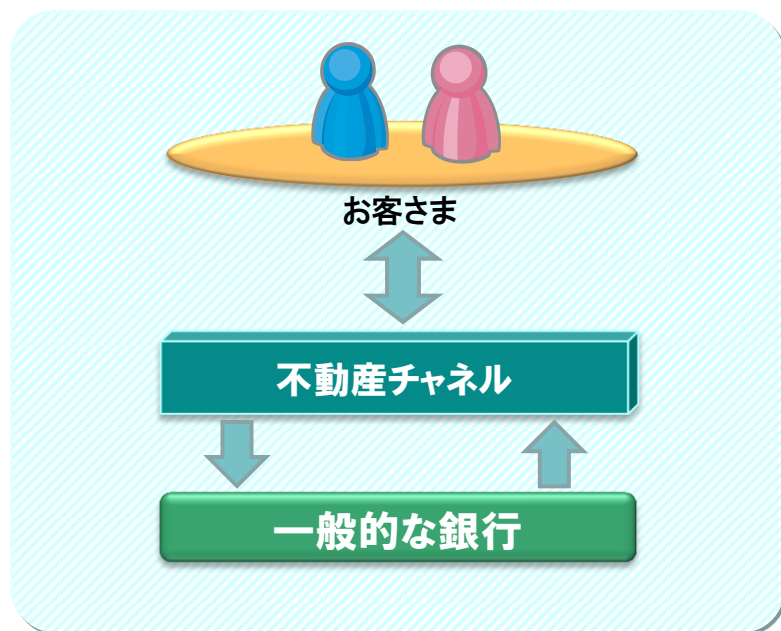


金利以外の付加価値で
勝負の時代に

■ スルガの住宅ローンビジネス

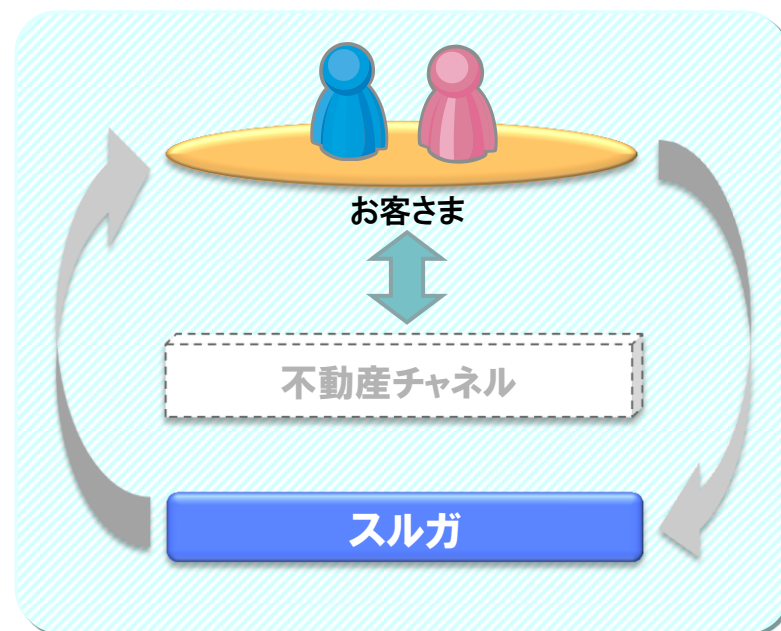
一般的な銀行の住宅ローンビジネス

不動産チャンネルを起点とした「金利訴求」の
「B to B to C」モデル



スルガの住宅ローンビジネス

自社DBとSmart Eyeを活用した「付加価値提供」の
「B to C」モデル

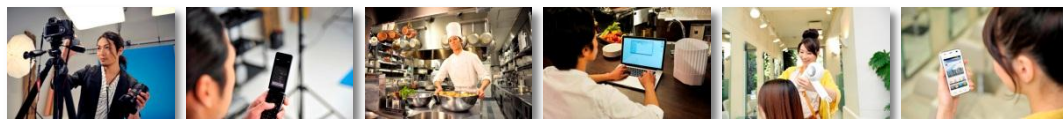


スルガの住宅ローンビジネスはチャンネル営業に依存しない
金利競争とは一線を画した「顧客軸」を付加したビジネスモデルを展開

■ ダイレクトワン株式会社の子会社化

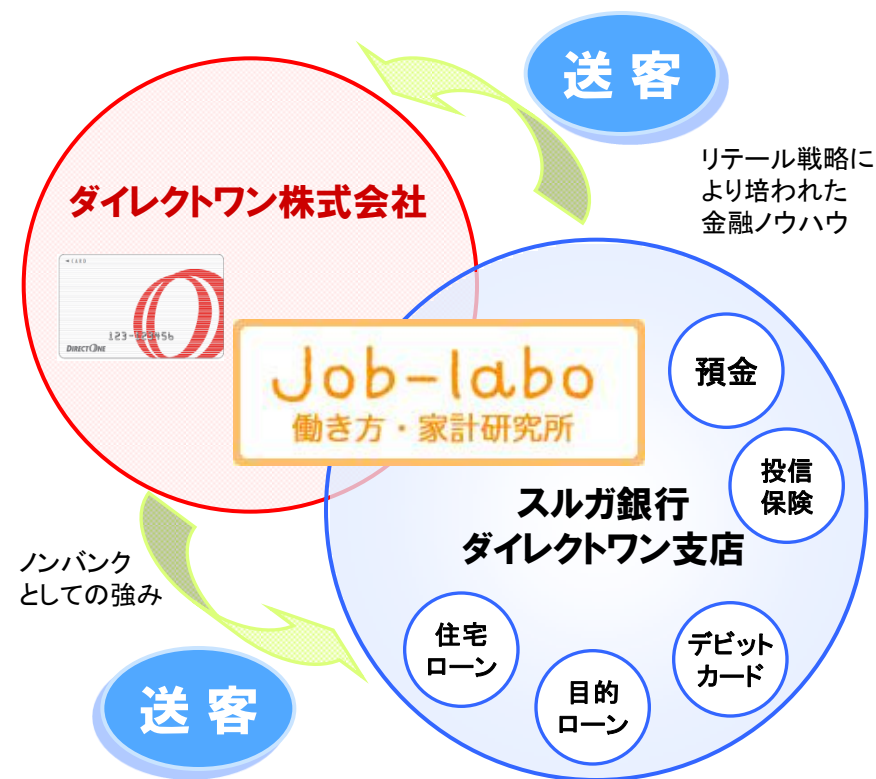
「ダイレクトワン株式会社」を子会社化

競合他社のビジネススキームとは異なるコンセプトにより
フリーローンマーケットの創造を志すスルガ銀行と協働し、
“消費者向け”金融の新しい顧客価値の創造・提供を目指す



明るい未来の創造に向けて
前向きに頑張っている人たちを金融面で応援

〈スルガ銀行×ダイレクトワンの目指すところ〉



スルガ銀行グループとして
お客さまの状況に応じてシームレスに商品提供を実施

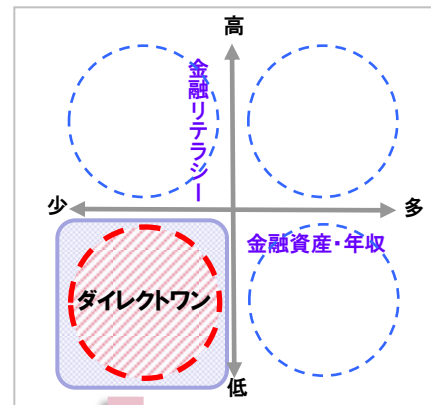
スルガのフリーローンビジネス鳥瞰図

スルガのフリーローンビジネス鳥瞰図



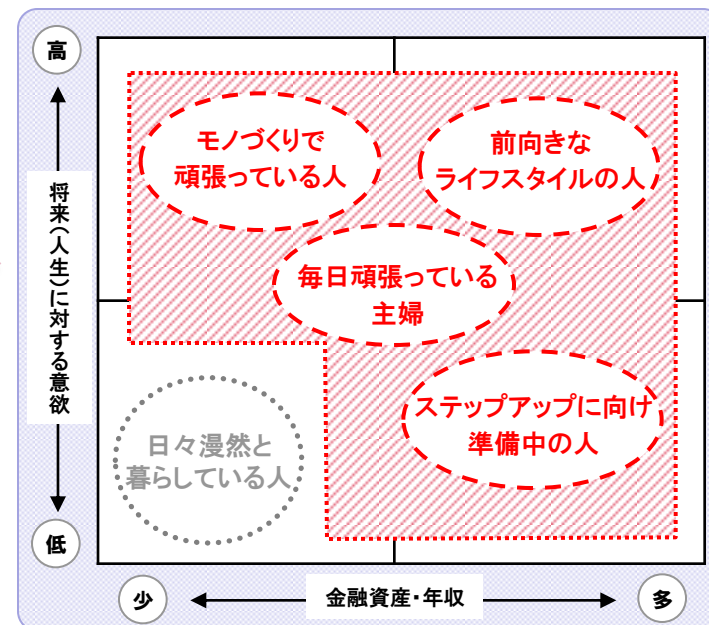
スルガ銀行グループとして、
お客さまのニーズにきめ細かな対応が実現可能な体制を構築

スルガのフリーローンビジネスにおける顧客属性



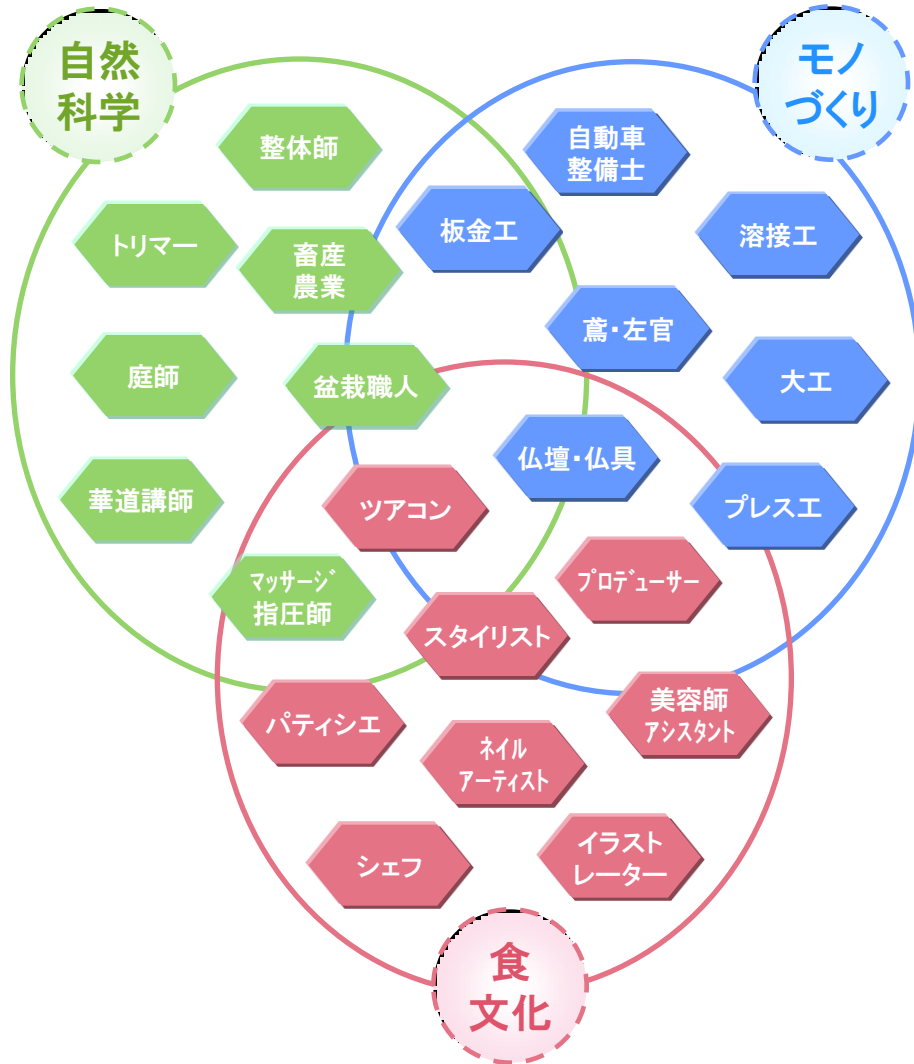
スルガ銀行グループの
フリーローンビジネスは
収入面だけではなく、お客さまの
価値観やライフスタイルも
考慮したうえで最適な商品のご
提案を行います

より詳細に分析してみると...



夢を持ち、頑張る人の未来の扉 ～Job labo(働き方・家計研究所)～

〈DIRECTONEのターゲット顧客(イメージ)〉



〈D-one Style〉 Job-labo小冊子

D-one style

メインターゲットであるヤング層・主婦層に向けた「資格・職業」「趣味」をテーマに、D-oneのコンセプトやおもしろいをちりばめた物語集を作成

ダイレクトワンのコンセプト

あなたのおもしろや努力は、自分のためばかりでなく、明日の日本のための“かけがえのないチカラ”になる。
夢の実現、自らの成長に向けて頑張る人をサポート。



■ ゆうちょ銀行との業務提携

カードローン「したく」等取扱店舗の拡大(2012年4月)

2012年4月1日よりゆうちょ銀行全233 店舗で
目的別ローンおよびカードローンの取り扱いを開始。
より多くのお客さまにお申込みいただくことが可能に

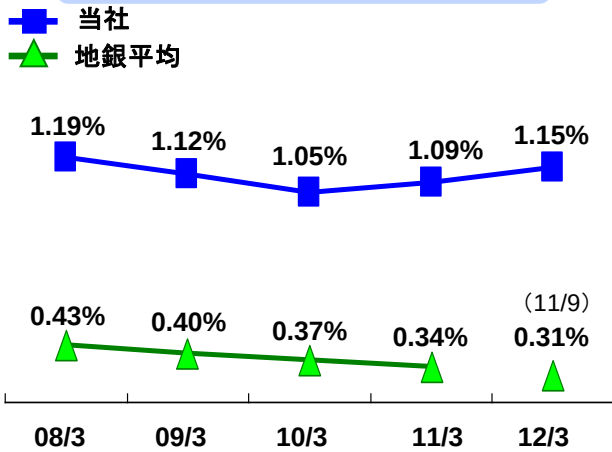
	住宅ローン 目的別ローン カードローン 取扱店舗	目的別ローン カードローンのみ 取扱店舗	個人向け ローン 取扱店舗 合計
北海道・東北	2	13	15
関東	44	65	109
甲信越・東海	9	25	34
近畿	16	28	44
中国・四国	7	10	17
九州・沖縄	4	10	14
合 計	82	151	233

2012年3月末までの実績値

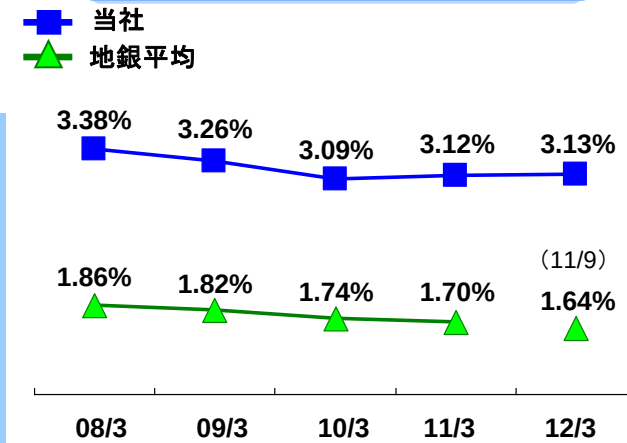


■ 利ざや等の状況 (全体)

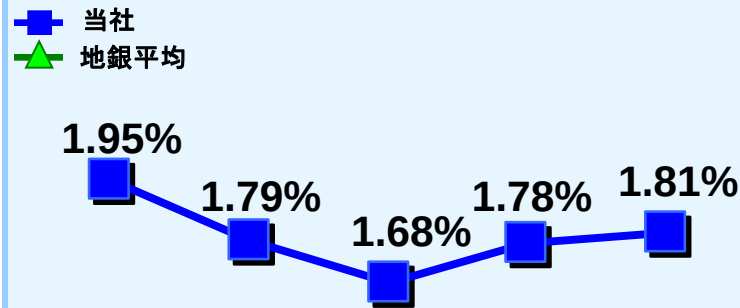
総資金利ざや



預貸金粗利ざや

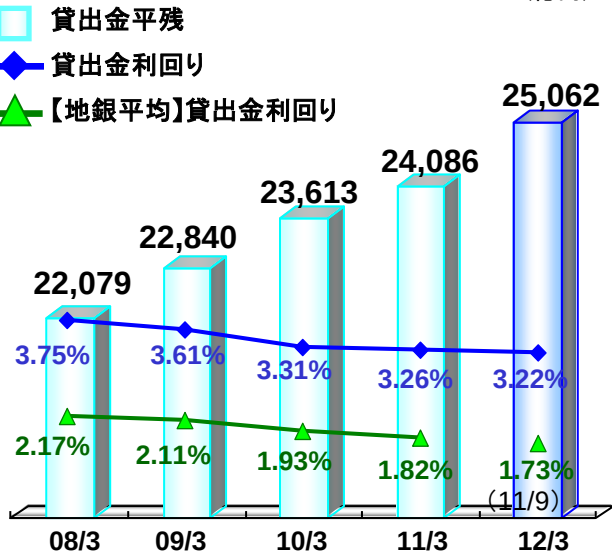


預貸金利ざや



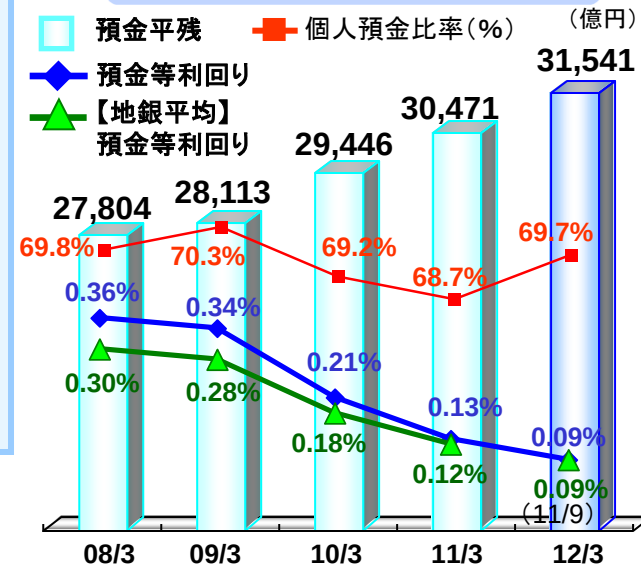
貸出金利回りと貸出金平残

(億円)



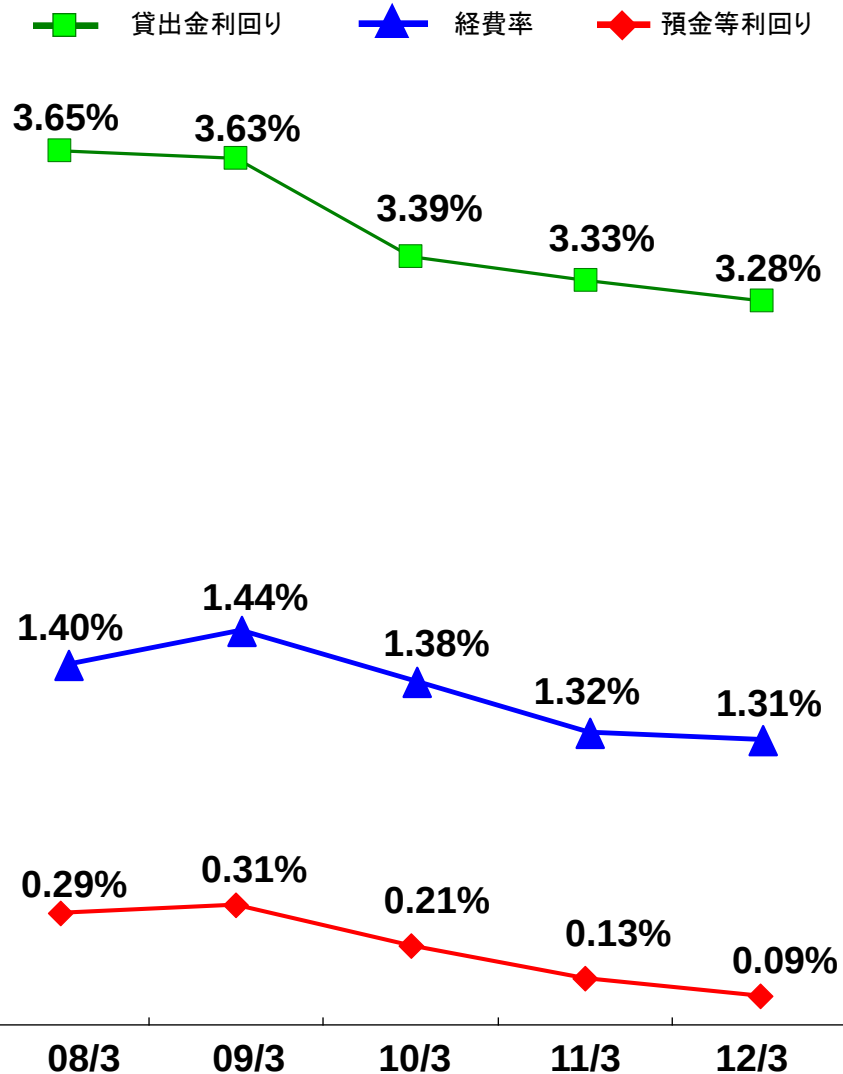
預金等利回りと預金平残

(億円)

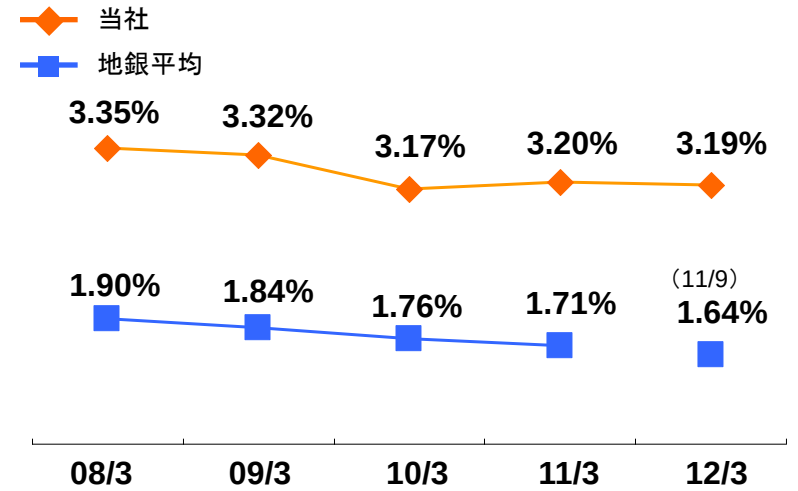


■ 利ざや等の状況(国内)

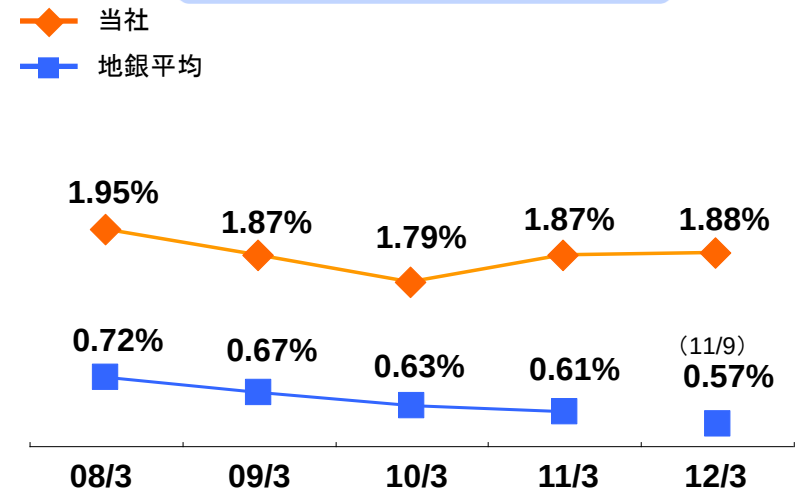
利回り・経費率の状況



預貸金粗利ざや

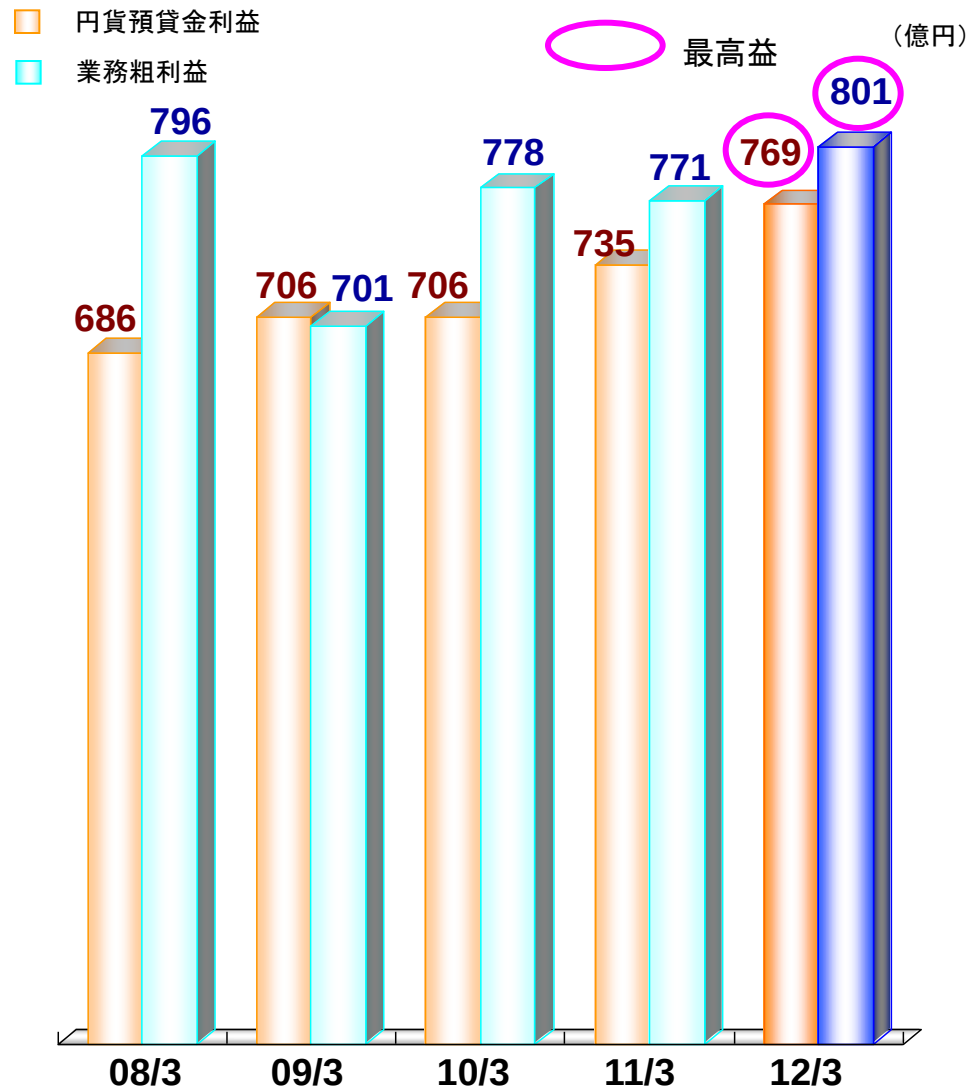


預貸金利ざや

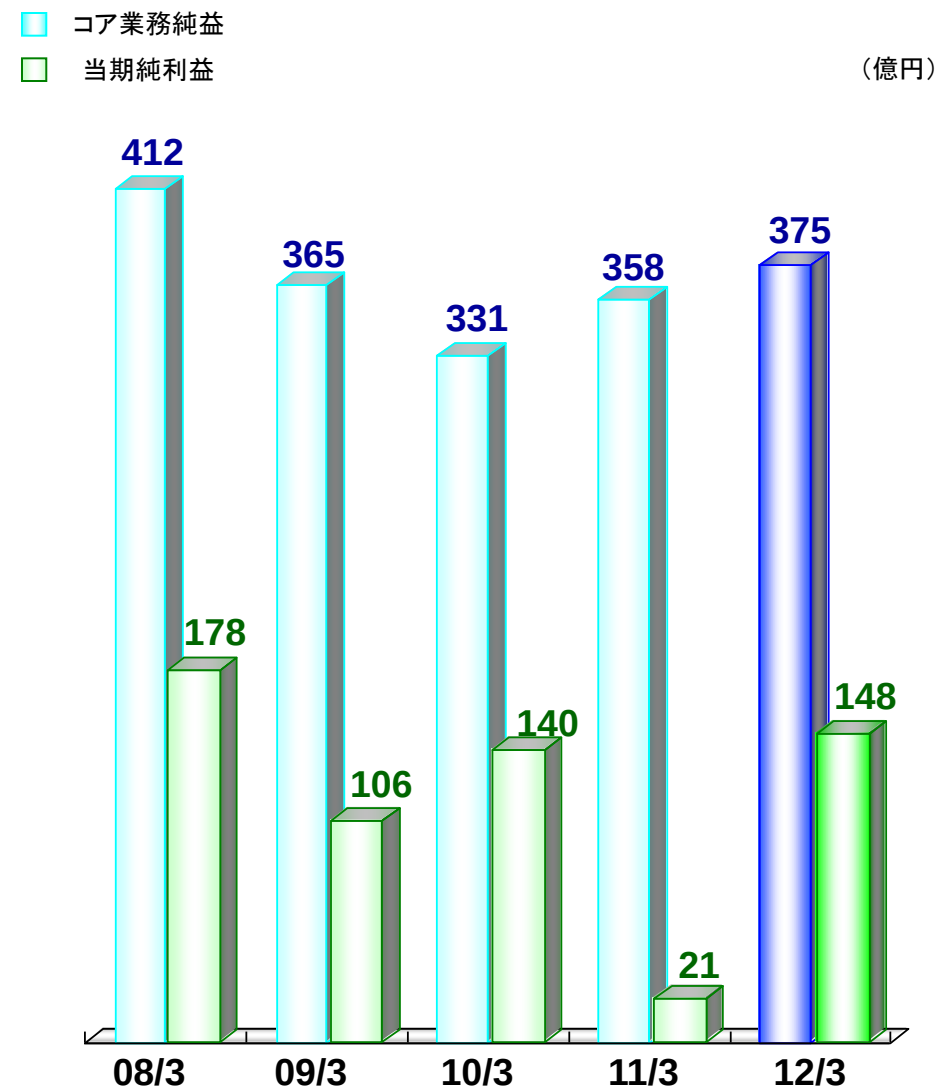


利益の推移

業務粗利益と円貨預貸金利益



コア業務純益と当期純利益



■ バランスシートの10年対比

国内銀行のバランスシート

【2000年度】

預貸金粗利ざや: 1.88%

総資産: 780兆円

貸出金
460兆円

法人向け
350兆円

個人向け
60兆円

有価証券
100兆円

その他資産
220兆円

預金
480兆円

その他負債
300兆円

預貸率: 95% 預証率: 20%

【2010年度】

預貸金粗利ざや: 1.55%

総資産: 840兆円

貸出金
430兆円

法人向け
270兆円

個人向け
100兆円

有価証券
200兆円

その他資産
210兆円

預金
600兆円

その他負債
240兆円

預貸率: 71% 預証率: 33%

出典(BS): 日銀HP
出典(預貸金粗利ざや): 全銀協
※預貸金粗利ざやは国内ベース

スルガのバランスシート

【2000年度】

預貸金粗利ざや: 2.66%

総資産: 2.9兆円

貸出金
1.9兆円

法人向け
0.9兆円

個人向け
1兆円

有価証券
0.4兆円

その他資産
0.6兆円

預金
2.7兆円

その他負債
0.1兆円

資本合計
0.1兆円

預貸率: 70% 預証率: 14%

【2011年度】

預貸金粗利ざや: 3.19%

総資産: 3.4兆円

貸出金
2.6兆円

法人向け
0.4兆円

個人向け
2.2兆円

有価証券
0.3兆円

その他資産
0.5兆円

預金
3.2兆円

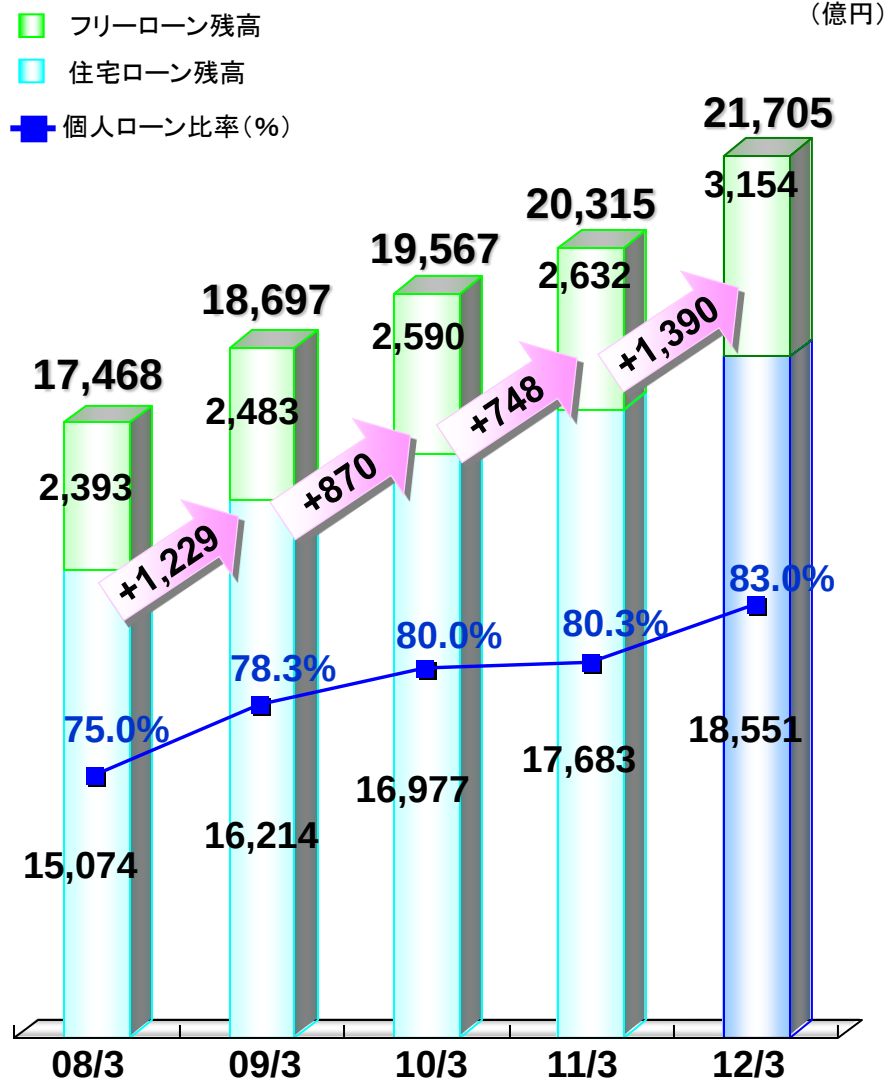
その他負債
0.1兆円

資本合計
0.2兆円

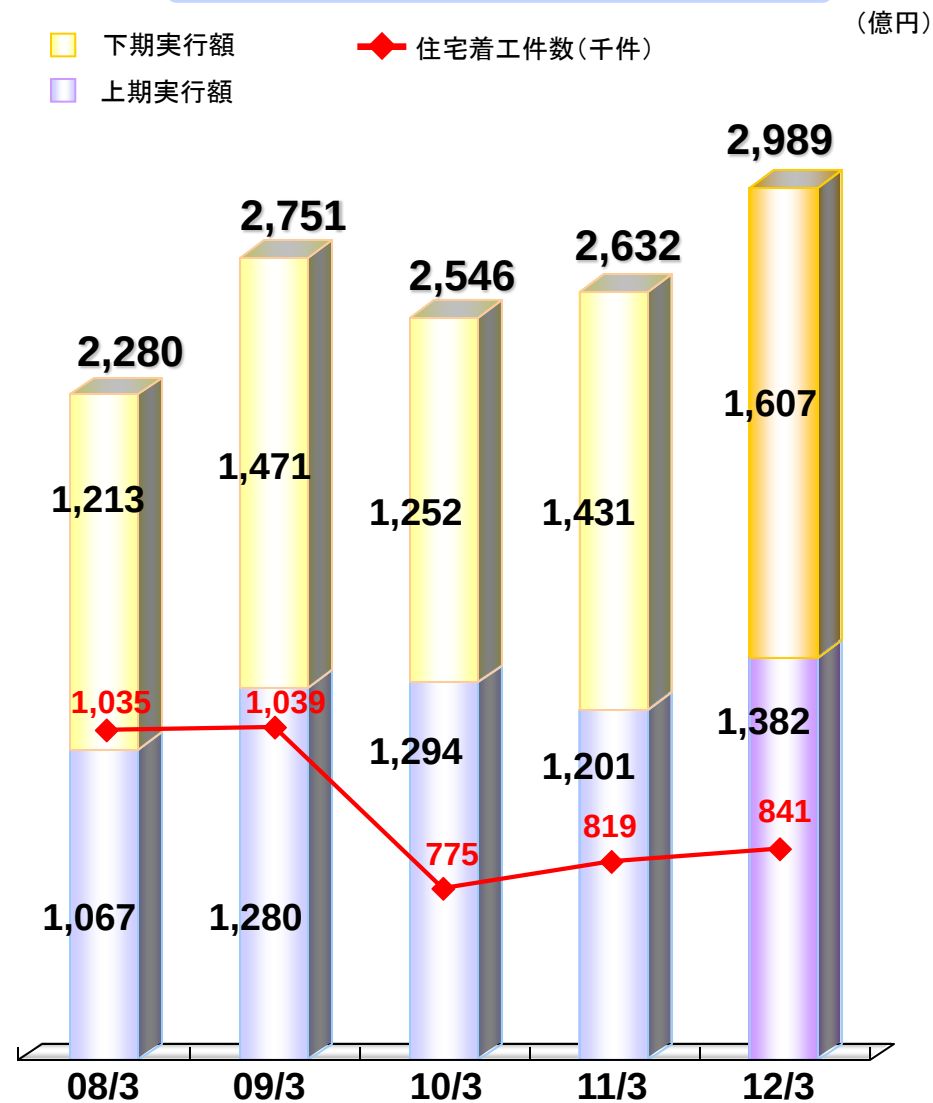
預貸率: 81% 預証率: 9%

■ 個人ローンの状況 ①

個人ローン残高・個人ローン比率

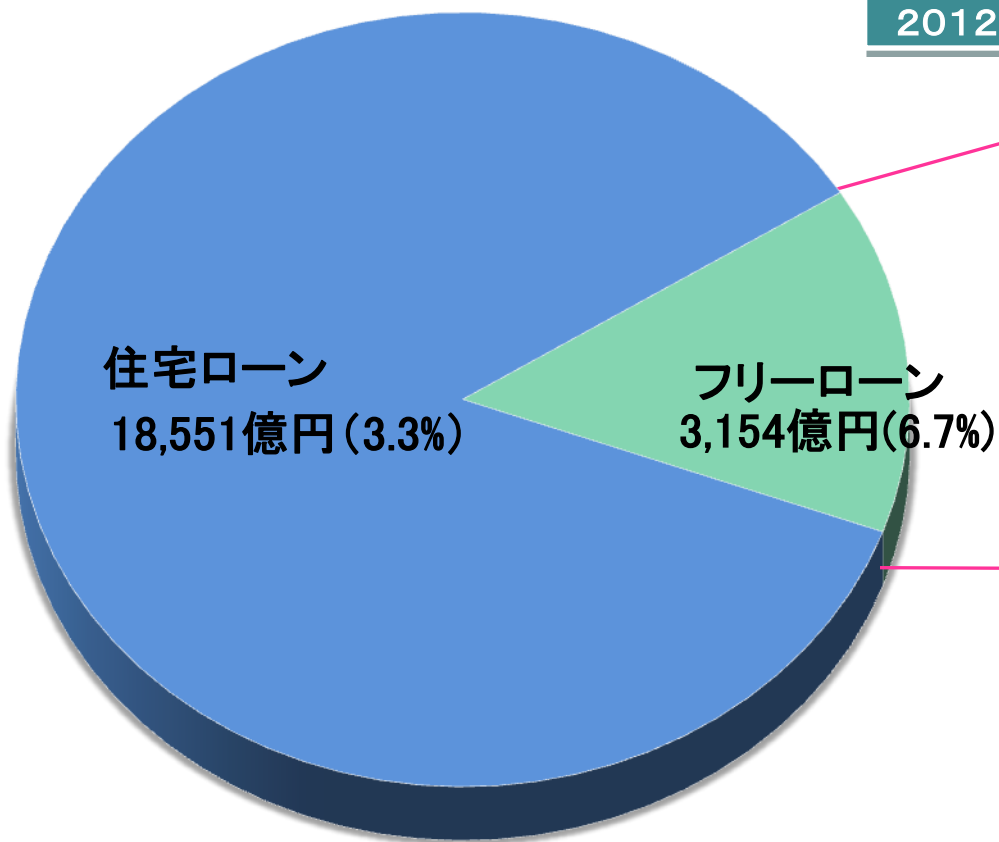


個人ローン実行額



■ 個人ローンの状況 ②

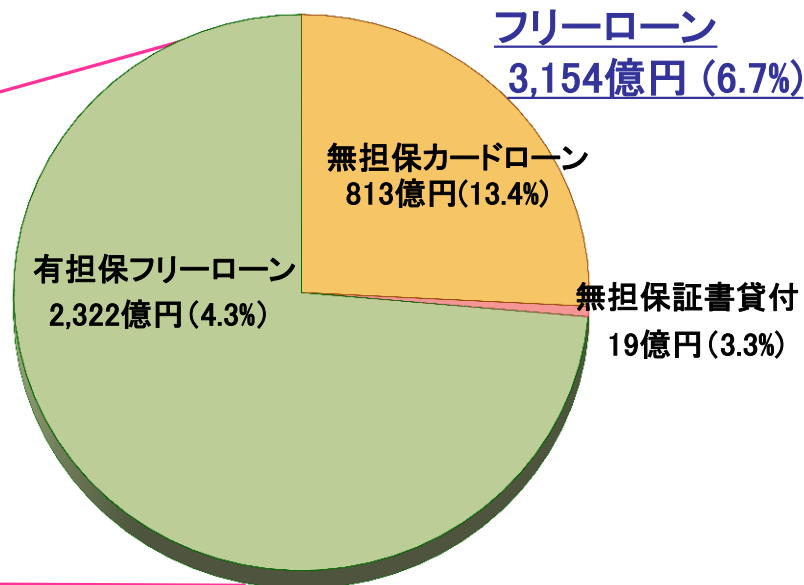
個人ローン残高内訳・平均レート



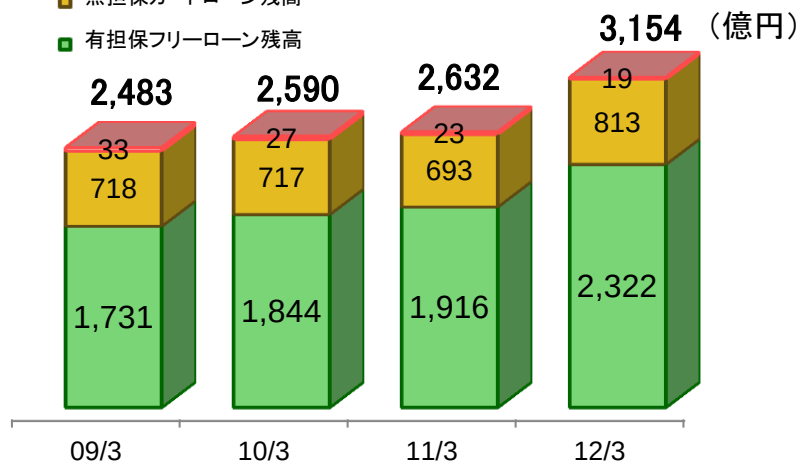
個人ローン
21,705 億円 (3.8%)

(注) ()内は平均レート

フリーローン残高内訳・平均レート

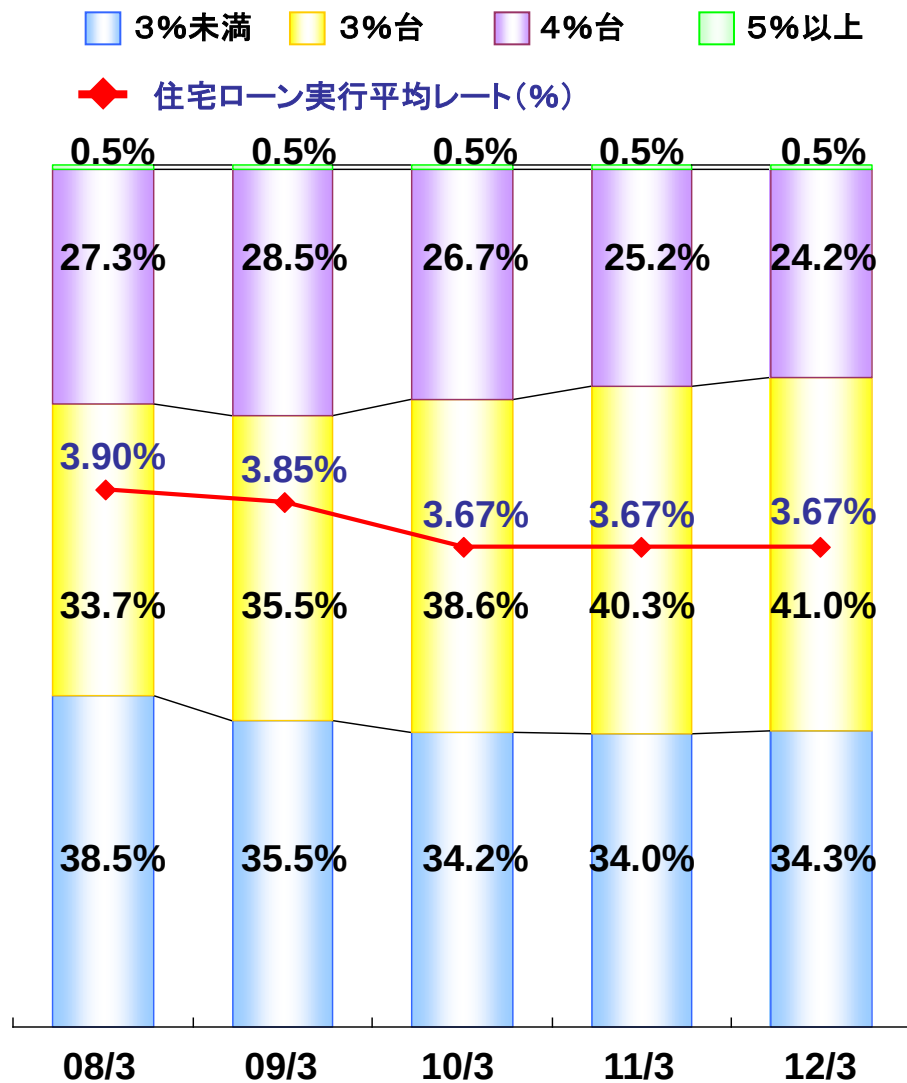


- 無担保証書貸付残高
- 無担保カードローン残高
- 有担保フリーローン残高

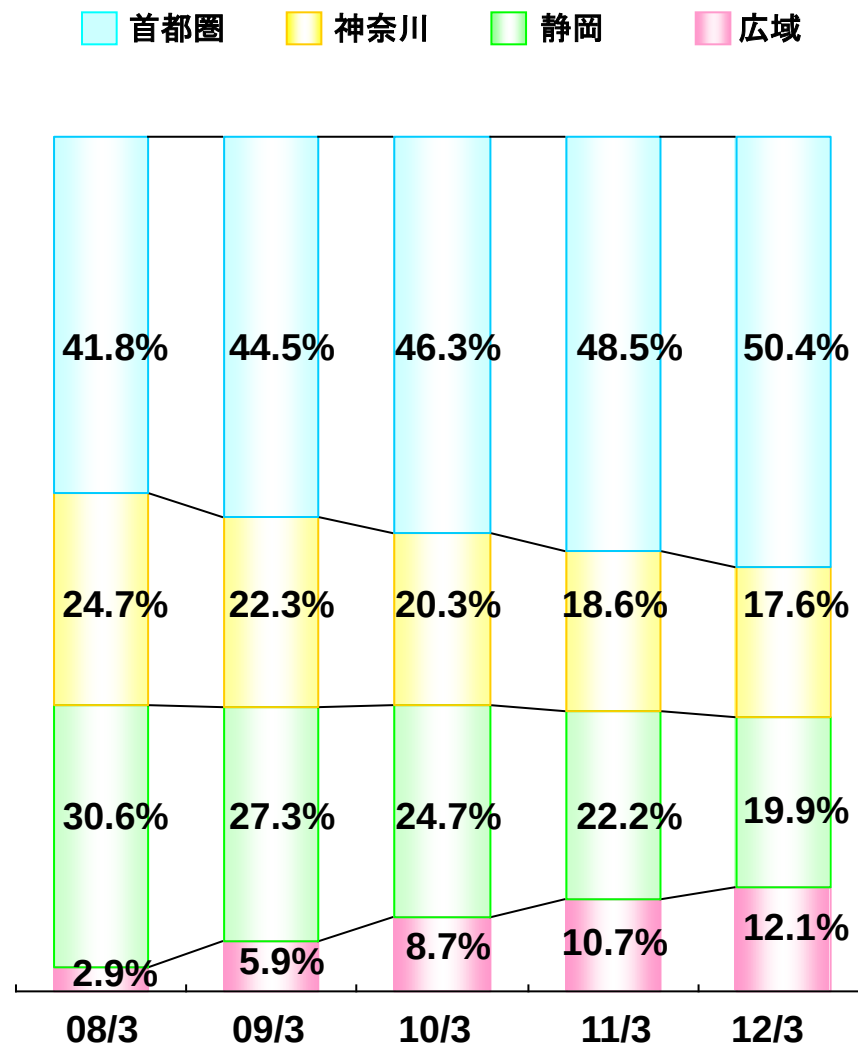


■ 住宅ローンの状況

住宅ローン実行レート分布(累計)



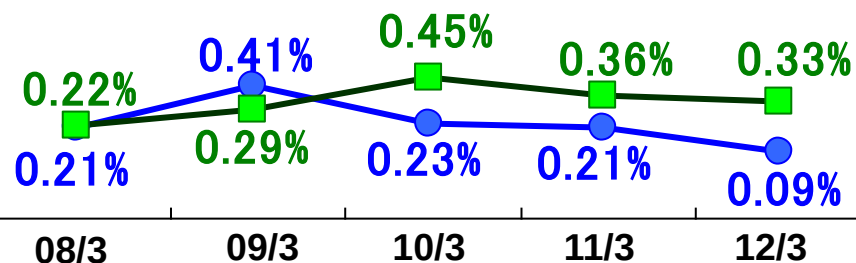
住宅ローン地域別残高比率



■ 個人ローンの延滞率・毀損率の推移

住宅ローン

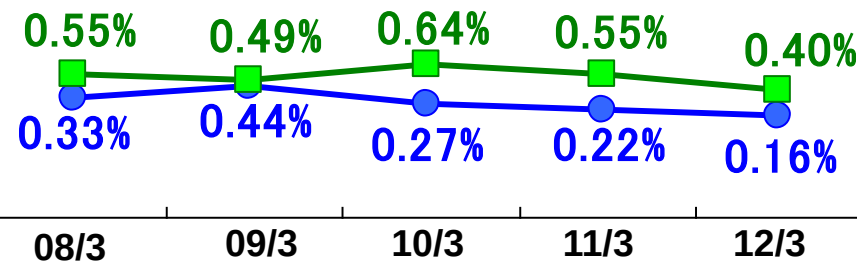
▲ 利回り ● 延滞率 ■ 毀損率



※延滞率＝3ヶ月以上延滞債権 ÷ ローン残高

フリーローン

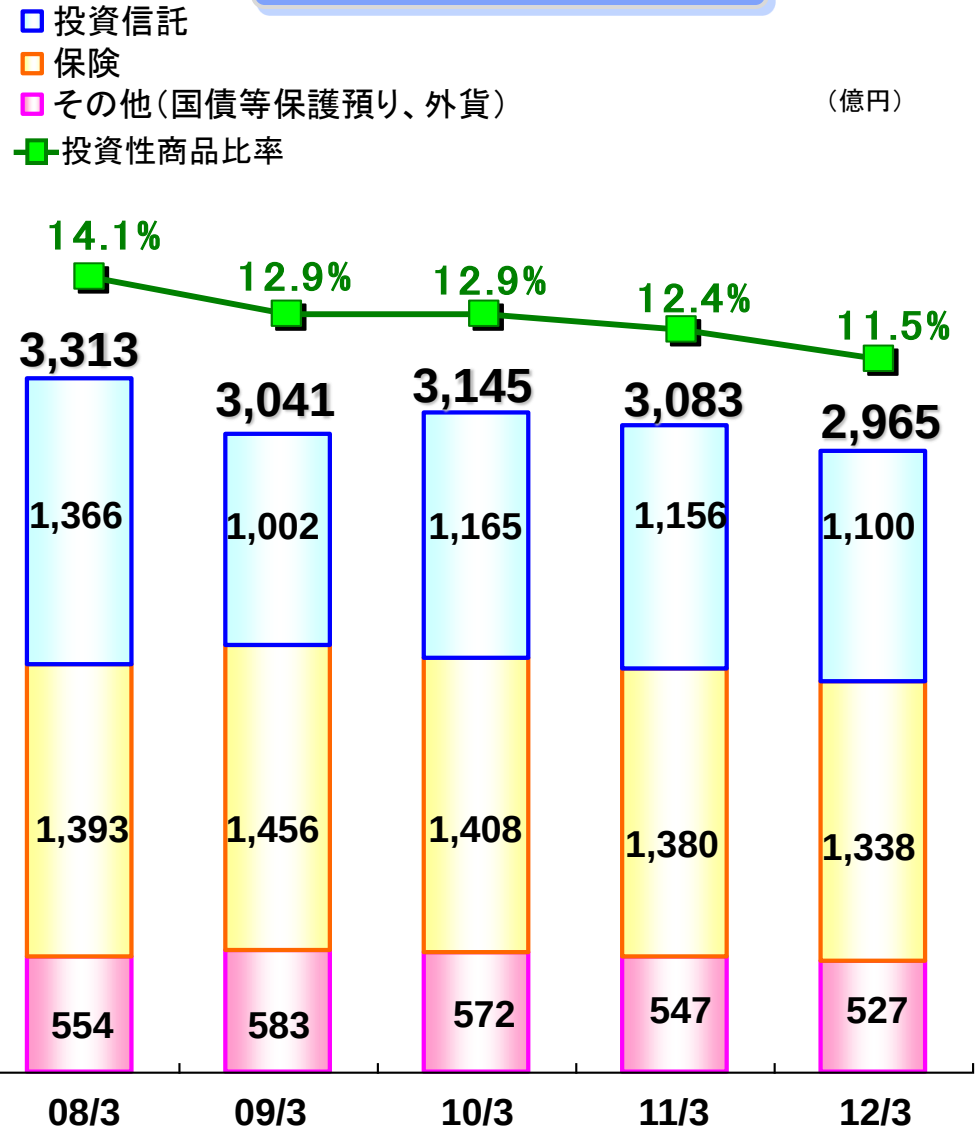
▲ 利回り ● 延滞率 ■ 毀損率



※毀損率＝デフォルト率 × (1 - 回収率)

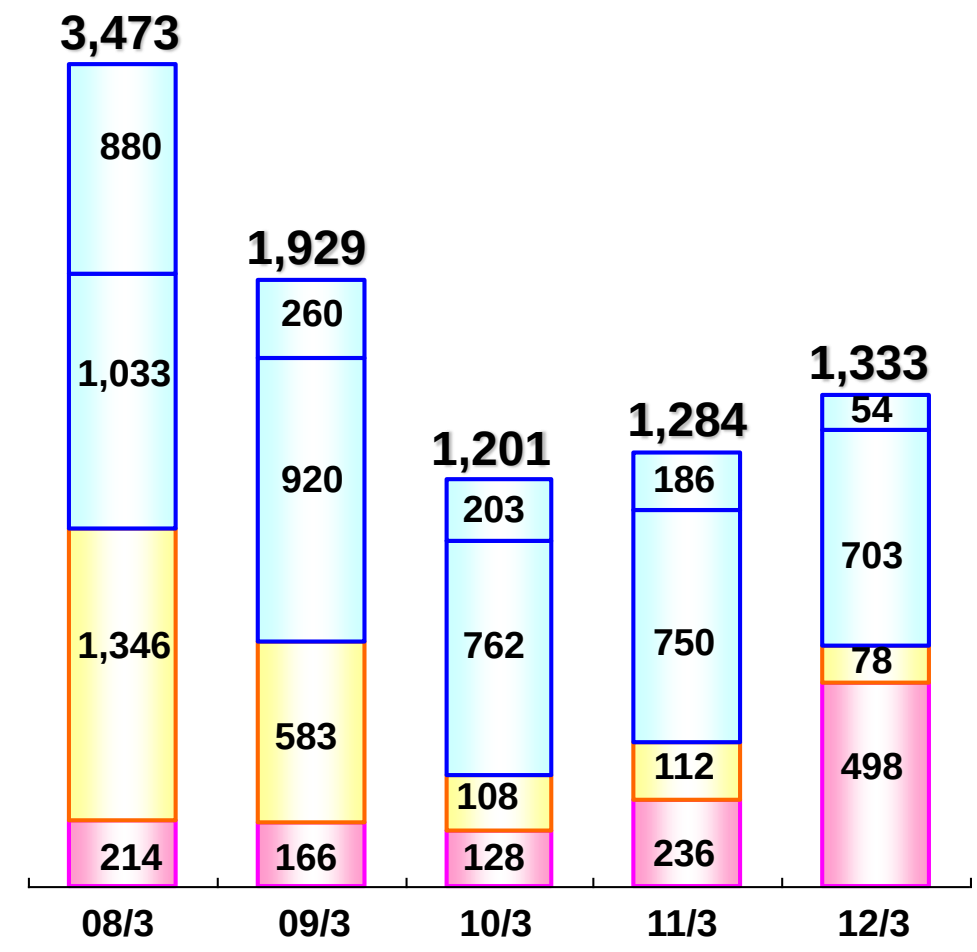
■ 投資性商品<残高・手数料>推移(個人)

投資性商品残高内訳(個人)

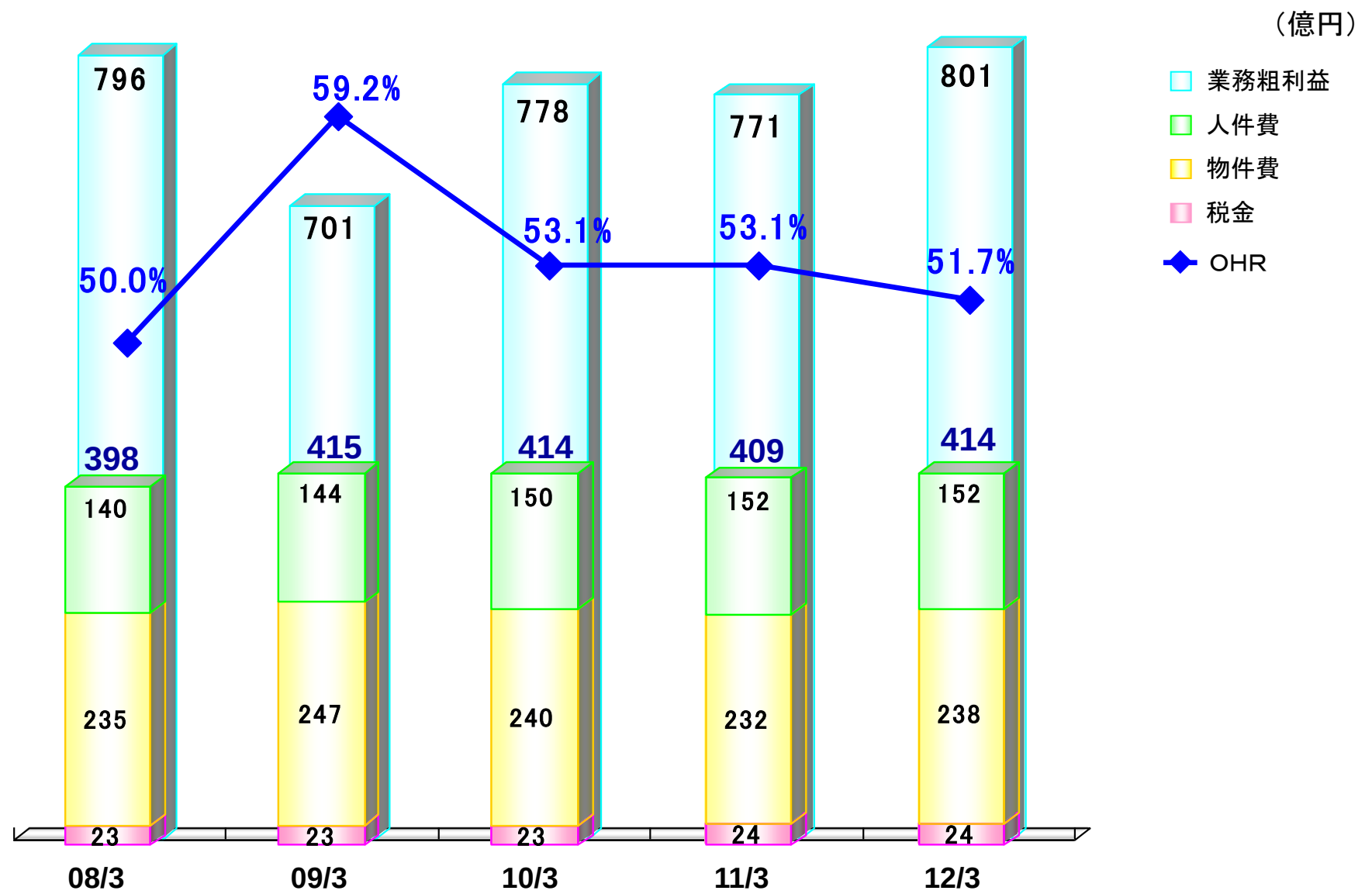


投信・保険手数料収入

- 投信販売手数料
■ 投信信託報酬
■ 個人年金保険手数料
■ その他保険(火災、一時払終身、保障性)
- (百万円)



■ 経費・OHRの推移



金融再生法開示債権詳細

(億円)

開示区分	12年3月期 与信残高	構成比	法人・個人別 与信残高		構成比	担保・ 保証合計	担保	保証	保全率	引当	引当率	カバー率
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	119	0.45%	個人	95	0.44%	55	46	9	57.92%	40	100%	100%
			法人	24	0.54%	22	11	11	91.50%	2	100%	100%
危険債権	203	0.77%	個人	39	0.18%	24	18	6	61.16%	12	77.08%	91.10%
			法人	164	3.64%	140	54	86	85.36%	18	77.09%	96.64%
要管理債権	195	0.74%	個人	87	0.40%	57	56	1	66.10%	7	24.64%	74.45%
			法人	108	2.39%	43	43	0	40.52%	12	18.82%	51.72%
合 計	517	1.96%	個人	221	1.02%	136	120	16	61.71%	59	69.63%	88.37%
			法人	296	6.57%	205	108	97	69.57%	32	36.23%	80.60%
正常債権	25,791	98.04%	個人	21,582	98.98%							
			法人	4,209	93.43%							
総与信合計	26,308	100%	個人	21,804	100%							
			法人	4,504	100%							

カバー率合計

83.92%

保全率

: 担保・保証による保全率

引当率

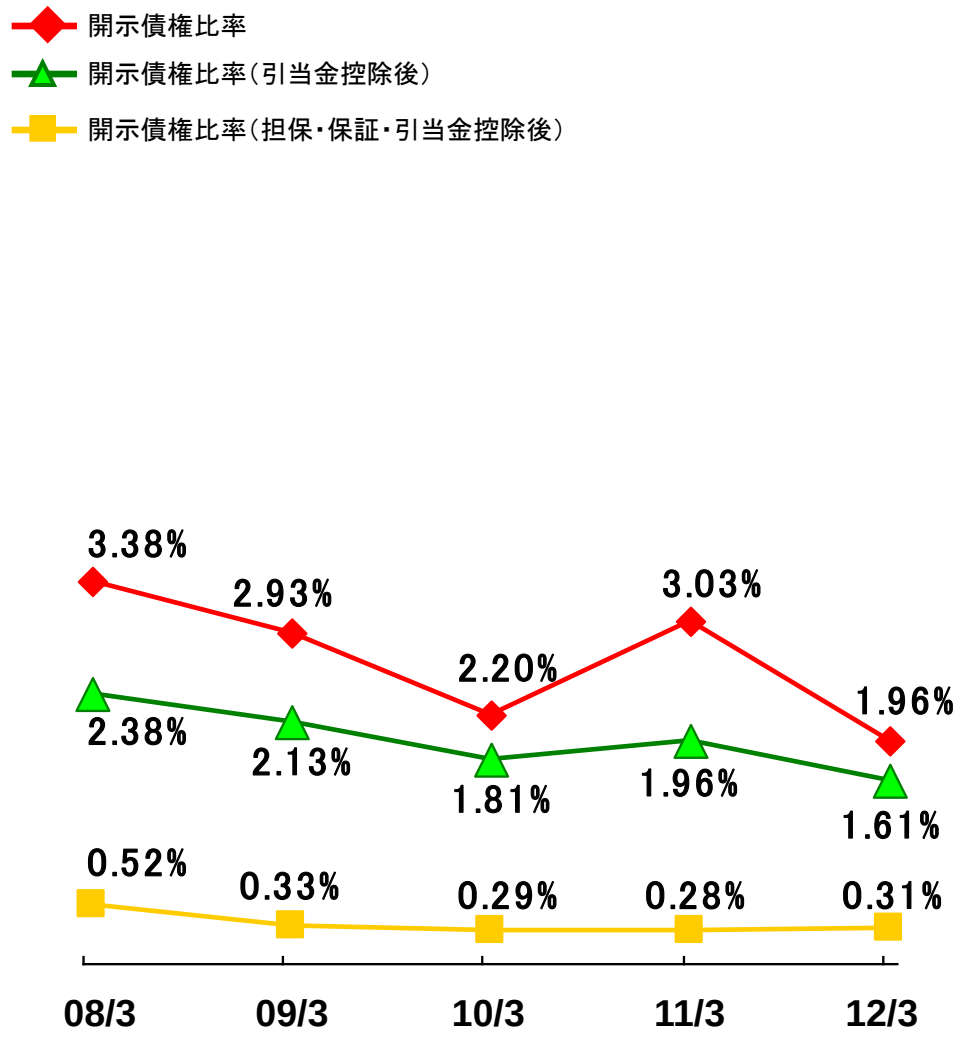
: 無担保部分への引当率

カバー率

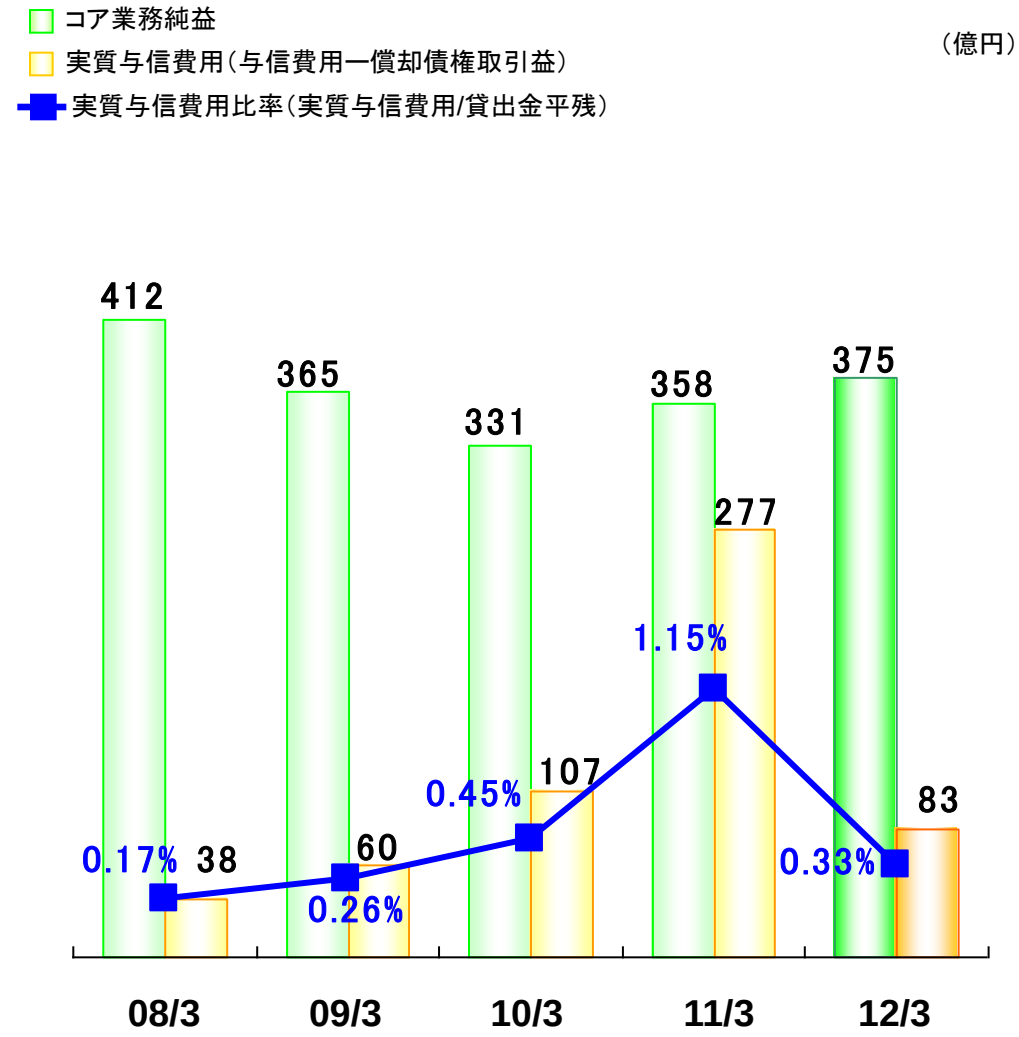
: 担保・保証・引当を考慮したカバー率

■ 開示債権比率と実質与信費用の推移

開示債権比率



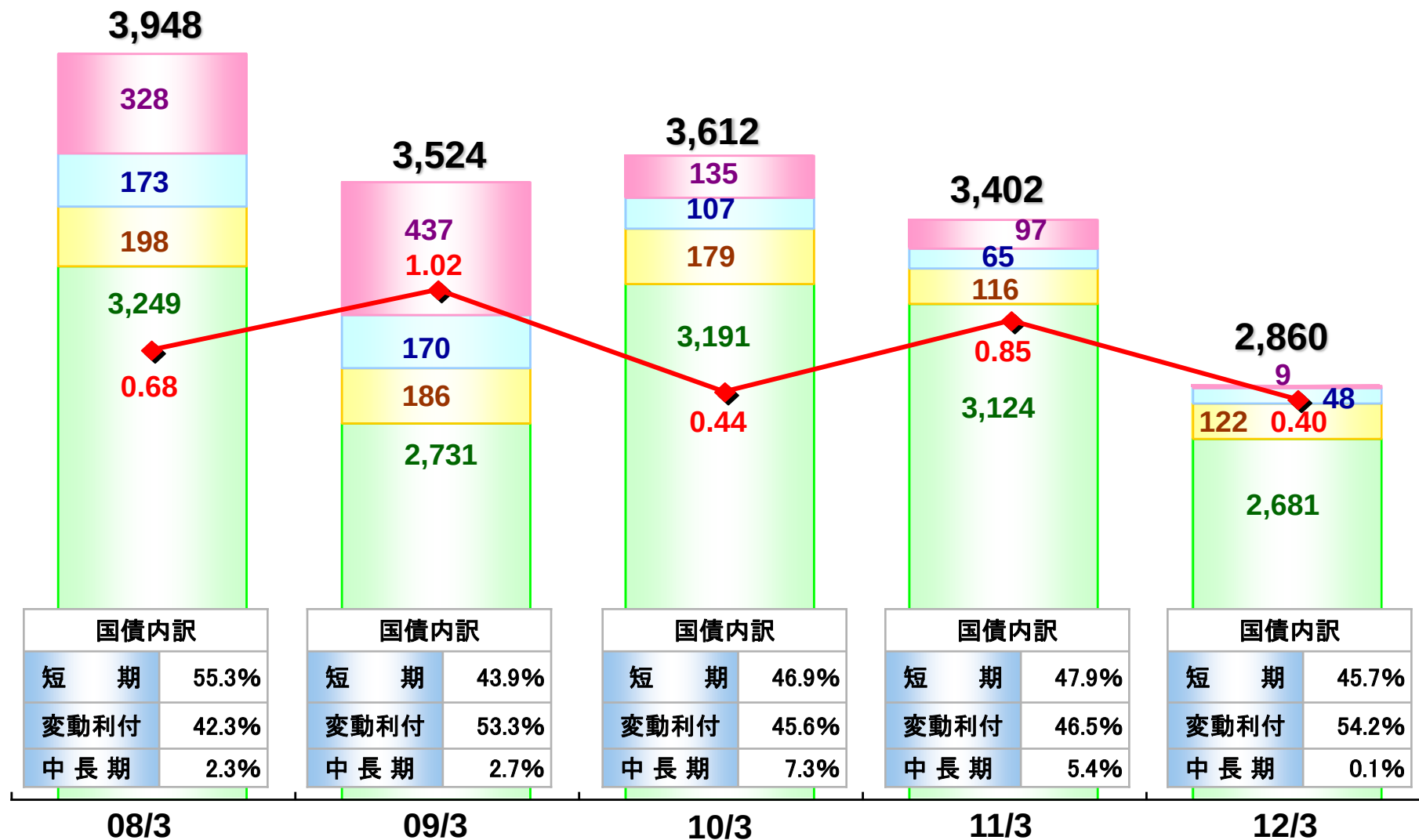
実質与信費用



■ 債券ポートフォリオの推移

平均残存期間(年) 国債 外国債券 社債 地方債

(億円)



■ リスク量の状況

統合リスク管理

2011年9月末

Tier I

(億円)

バッファー1, 180

1. 信頼水準 99% (共通)
2. 保有期間 (営業日)
 - ・信用リスク 240日
 - ・預貸金、債券等 金利・価格変動リスク 60日 (トレーディング勘定は 10日)
 - ・株式 価格変動リスク 120日
3. オペレーショナルリスク
基礎的手法

1, 850

670

210

328

132

454

150

180

124

信用リスク

市場リスク

オペレーショナル
リスク

2011下期
配賦原資

2011下期
配賦資本

2012/3月末
リスク量

アウトライヤー比率

2012年3月末

金利ショック
方式

±200bp

金利リスク量

80億円

アウトライヤー
比率

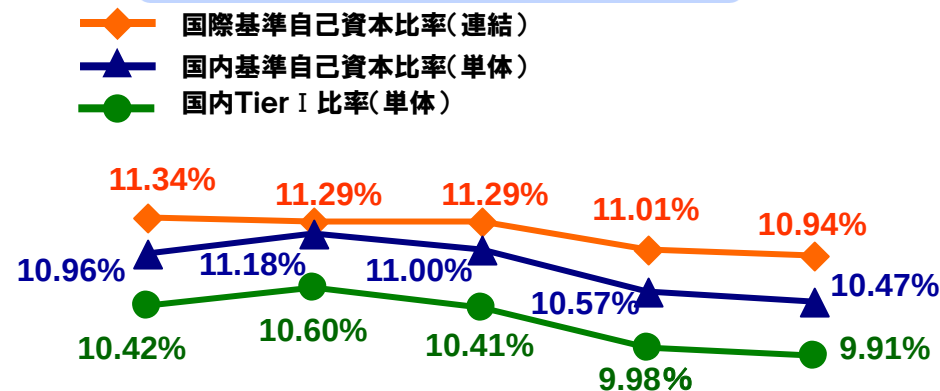
3. 9%

■ 自己資本の推移

自己株式取得実績

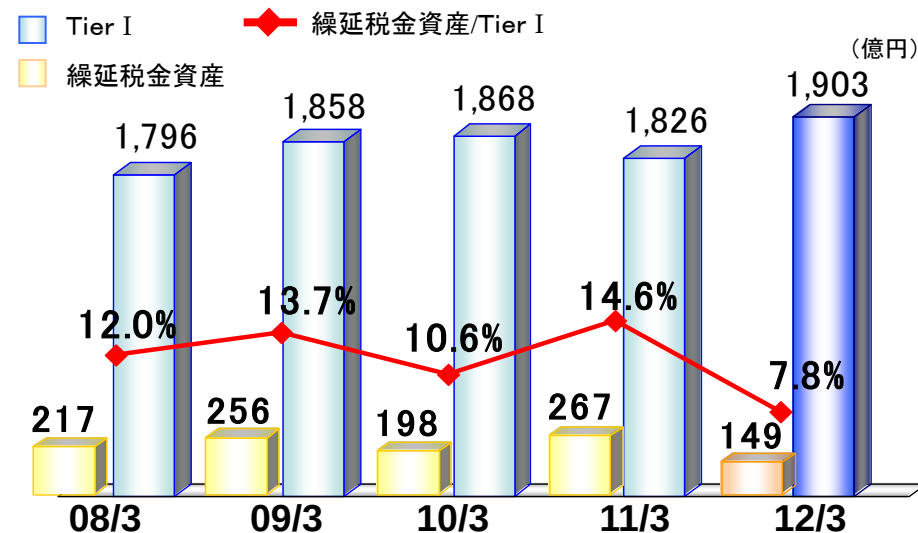
第1回【実績】 2009年2月～ 2009年5月	754万株 60億円
第2回【実績】 2009年10月～ 2010年6月	982万株 80億円
第3回【実績】 2010年7月～ 2010年10月	399万株 30億円
第4回【実績】 2011年5月～ 2011年9月	562万株 36億円
第5回【実績】 2012年3月～ 2012年4月	93万株 7億円
合計	2,790万株 213億円
【消却】 2009年8月	▲680万株 ▲59億円

自己資本比率



2012年3月末 コアTier I 比率 : 8.7%

(有価証券評価差損、繰延税金資産、金融機関への普通株出資、ソフトウェア等を勘案)



■ 2011年度実績及び2012年度業績見通し

(億円)

	2010年度 実 績 (A)	2011年度 実 績 (B)	前年度比 (B-A)	2012年度 見通し
業務粗利益	771	801	+ 30	810
経費等	409	414	+ 5	425
業務純益	330	364	+ 34	375
コア業務純益	358	375	+ 17	385
経常利益	10	278	+ 268	280
当期純利益	21	148	+ 127	170
実質与信費用	277	83	△ 194	75
ROE(%) (当期純利益ベース)	1. 13	8. 24	+ 7. 11	8. 98
EPS(円)	8. 63	62. 26	+ 53. 63	72. 03
一株あたり配当金(円)	13.0	13.0	0	13.0

■ スルガのCSR(企業の社会的責任)

「〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝い」を企業理念とするスルガは、顧客価値の提供と夢の実現のお手伝いを通じて、ステークホルダーのご期待に応え社会的責任を果たしてまいります

これからのCSR

価値創造型CSR

価値観的コミュニケーション

- 遵法を超える正しさに沿う経営
- ステークホルダーとの厚い信頼
- 市場における違いの確立
- 限りなく透明性と納得性を高める経営 など

CSR
スタートライン

必須のCSR

機能的コミュニケーション

“社会基盤で事業を行う上で必須のCSR”

- 社会からの最低限の要請
- マイナスリスクの軽減 など

社会的側面の
活動

共存

環境的側面の
活動

公正

経済的側面の
活動

均衡

持続的成長

「夢」の実現と地球環境の保護、地域産業基盤の維持をサポート

お客さまの夢から未来を創る 「d-labo(夢研究所)」

お客さまの「夢見る力」「夢探し」を
セミナーの開催などでサポート



「I DREAM」 (サッカーの夢応援)

「サッカー王国」静岡県の銀行として、
サッカーに関わる「夢の実現」をサポート



特別協賛 スルガ銀行



スルガ銀行
チャンピオンシップ2012 BARAKI

「SURUGA ECO ACTION」 私たちの大切な未来に向けた 環境問題への取り組み



1. 環境関連金融商品のお取扱い
2. 社会貢献活動の実施
3. エコオフィス化の推進
4. 環境に関する啓蒙活動

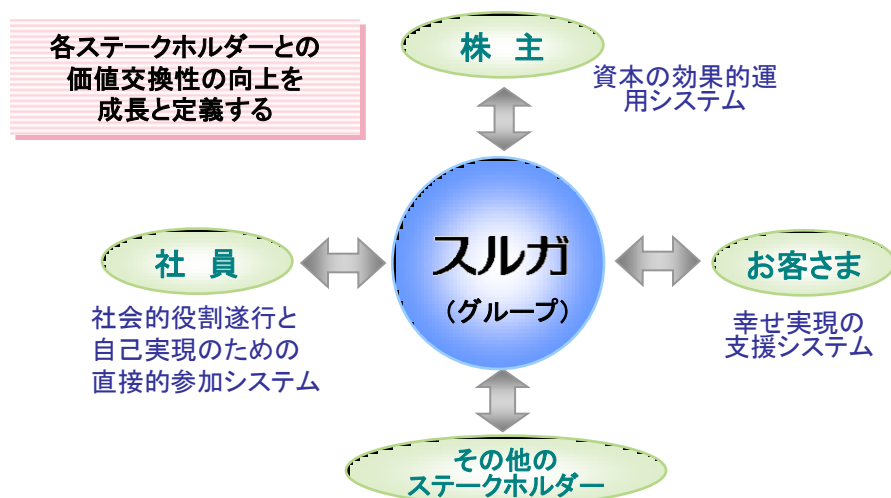
静岡県内の中小企業の 事業継承を 積極的にサポート

静岡県事業引継ぎ支援センター
との連携による
事業継承の支援案件が成立

**支援センターの引継ぎ支援では
全国初の成約**

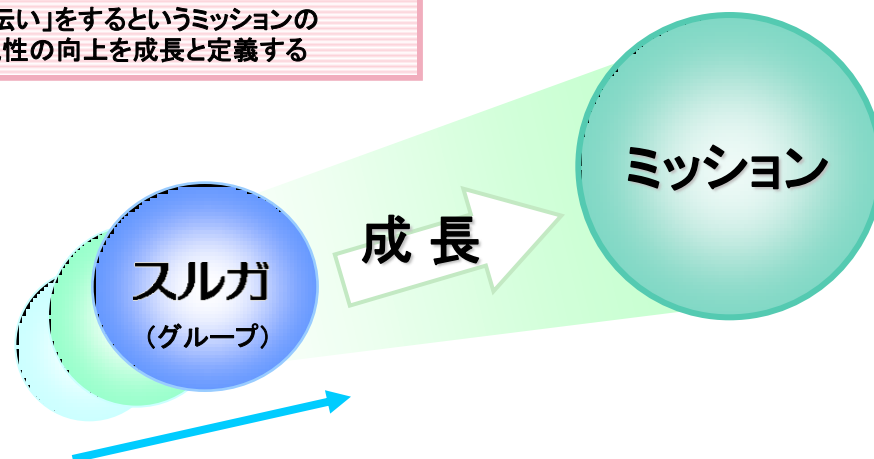
■ 経営理念における成長のあり方

“価値交換システム”としての成長



“使命型企业”としての成長

「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュとして
〈夢をかたちにする〉、〈夢に日付を〉いれる
お手伝いをするというミッションの
実現性の向上を成長と定義する



“C・P・S”を原点とした成長

経営		
C	Culture-oriented 「立地する国、地域の文化に立脚する」	文化を尊重し、その文化を強みとして活かしていくことにスルガの成長がある
P	People-based 「人に基軸を置く」	企業の理論ではなく、人の論理を中心に据えた経営によって成長を実現する
S	Social-perspective 「社会的な見地を大切にしたい経営を行う」	社会的公器としてのあり方を絶えず志向し、社会規範の上をいく状態を実現する

SURUGA bank

**<本件に関する照会先>
経営管理部財務(IR)**

[TEL] 03-3279-5536

[メールアドレス] ir.koho@surugabank.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。